

SUPER GT Round7 オートポリス大会にて、 航空自衛隊築城基地所属「F-2型」航空機によるウェルカムフライト決定！

株式会社オートポリス（本社：大分県日田市、代表取締役：金子 隆）は、オートポリスインターナショナルレーシングコース（大分県日田市）において、2024年10月19日（土）、20日（日）に開催される「2024 AUTOBACS SUPER GT Round7 AUTOPOLIS GT 3Hours RACE」にて、自衛隊大分地方協力本部のご協力により、昨年に引き続き、決勝日である10月20日（日）に航空自衛隊築城基地「第8航空団築城基地所属第6飛行隊「F-2型」航空機によるウェルカムフライトが決定しましたことをお知らせします。

本フライトは、決勝レース前のセレモニー中に予定しており、各種観戦エリアよりご観覧いただけます。



航空自衛隊築城基地所属「F-2」航空機ウェルカムフライト概要

日 時：2024年10月20日（日） 決勝レース前セレモニー中
場 所：オートポリスインターナショナルレーシングコース上空
内 容：航空自衛隊第8航空団築城基地所属第6飛行隊「F-2型」航空機ウェルカムフライト
※天候、視界不良、その他の理由により中止となる場合があります。

日米の先進の技術を結集して生まれました

F-2は、米国のF-16を、日本の運用の考え方や地理的な特性に合わせ、日米の優れた技術を結集し日米共同で改造開発した戦闘機です。昭和63年にFS-Xとして開発に着手し、平成7年に初飛行、12年度に開発は完了しました。F-16からの主な改造点は、旋回性能の向上のため主翼面積を増やし、軽量化のため先進材料や先進構造を取り入れたこと。また離陸性を高めるためエンジンを推力向上型に変え、さらに最新レーダーなど、先進の電子機器を採用しています。

主要諸元

【分類】戦闘機 【乗員】1人/2人 【全幅】11.1m 【全長】15.5m 【全高】5.0m 【最高速度】マッハ約2.0

※航空自衛隊ホームページより抜粋

<https://www.mod.go.jp/asdf/equipment/sentouki/F-2/index.html>